

1 諮問について

諮問テーマ:

「カーボンニュートラル実現に向けた地域や家庭での環境配慮行動の促進」

諮問の背景・理由

- ・カーボンニュートラル (CN) に向けては、市内では自動車製造業を中心に、環境問題への対応、国際競争力の強化、生産・雇用の確保など喫緊の課題として、取組が急拡大。
- ・一方、CN は、産業分野だけでなく、電気などのエネルギーを使用する一人ひとりが、ムダを減らすなどの行動変容がないと実現できない問題である。
- ・これまで家庭や地域などで実践されてきた省エネ行動やごみ減量などの「環境配慮行動」は、いつの時代も環境施策の 1 丁目 1 番地であり、市民の身近な行動で、CN に貢献できることを改めて広く伝えていく必要がある。

答申に期待すること

- ・家庭や地域で、一丸となって取り組める環境配慮行動例の提案
(過去には、「買物袋持参運動」や「水分ひとしぼり運動」を実施。)
- ・提案に関しては、なるべく当地域会議 (コミュニティ) で実現できそうなもの
- ・取組の結果、直接的又は間接的に CO2 削減に寄与するもの
(○: ごみを減らす⇒廃棄物削減で CO2 削減につながる、△: ごみ出しマナーの向上)

2 (参考) 市内の CO₂ 排出量と推移

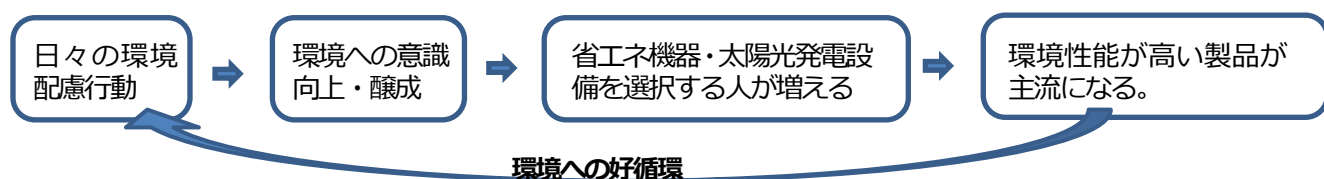
・CO₂の排出量

部門	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
①エネルギー起源	341万	334万	320万	314万	305万	292万	277万
家庭	62万 (18%)	59万 (17%)	58万 (18%)	49万 (15%)	49万 (16%)	45万 (15%)	43万 (15%)
業務	47万 (13%)	45万 (13%)	42万 (13%)	43万 (13%)	41万 (13%)	38万 (13%)	37万 (13%)
産業	190万 (54%)	187万 (55%)	178万 (54%)	180万 (56%)	173万 (55%)	167万 (56%)	157万 (55%)
運輸	43万 (12%)	43万 (13%)	41万 (13%)	41万 (13%)	41万 (13%)	41万 (14%)	41万 (14%)
②非エネルギー起源 (廃棄物)	9万 (3%)	9万 (3%)	8万 (2%)	8万 (2%)	8万 (3%)	8万 (3%)	8万 (3%)
合計 (①+②)	351万	343万	328万	323万	312万	299万	285万
2013比	-	▲2.3%	▲6.6%	▲8.0%	▲11%	▲15%	▲19%

全体の排出量のうち、家庭は約 15%を占める。
(ほとんどが電気使用によるもの)

- ・全体の CO₂ 排出量: 順調に減少 (2013 年度比▲19%)
- ・うち、家庭部門: 順調に減少 (▲30%)
⇒主な要因として、

- ①購入する電気の化石燃料割合が低下 (社会全体として再エネ率が拡大)
- ②家庭の省エネ促進 (省エネ家電への買替えや LED 照明、節電行動など)
- ③家庭での太陽光発電設備導入の普及 (大手ハウスメーカーを中心に新築標準)




3 地域での取組事例の紹介

ポイント

市民の行動変容につなげるためには、「環境に良いから」の視点だけでなく、「経済的にもお得」の視点を加えることが大切。何気ない行動で、ポイントがもらえ、また環境にも貢献できるなどの活動など、楽しみながらできることで持続的な活動につながる。

<参考>

スポGOMI	
内容	・スポーツ×ごみ拾い ・制限時間内に定められたエリア内でごみを拾い、その種類と量でポイントを競い合う環境美化活動と融合させてスポーツ。全国各地で大会も開催されている。
CN の視点	ごみの分別の意識醸成→3R の推進→廃棄物削減




『食品ロス削減全国大会 in 豊田』開催記念
とよたSDGs パートナー
スポGOMI 大会 in とよた

キャッチコピー
「ごみ拾いはスポーツだ！」

「地域版 COOL CHOICE」の作成、賛同


内容	・環境省が実施している「COOL CHOICE」(CO2 削減アクション) を地域版で作成し、住民に賛同してもらうことで、環境への意識向上を図る。〇〇地区ゼロカーボンアクション 30
CN の視点	環境配慮行動の見える化 (選択肢の提示)



進もう、COOL CHOICE 市
渋谷へ。 Making an In Cool Choice Shikyo

節電・省エネチャレンジ


内容	・民間電力事業者のサービスや、市のキャンペーンを活用して、家庭の電気使用量を確認し、節電や省エネ行動に協力するとポイントがもらえる取組に参加。
CN の視点	電気使用量の見える化、省エネ行動



家庭の電気使用量見える化キャンペーン
キャンペーン参加で
100P
さらにはマイカーチャージ
減額にも使える
100P
とよたSDGsポイントが
合計最大200Pもらえる!!


再配達防止チャレンジ

内容	・荷物を 1 回で受け取ることで、再配達に係る移動を削減する。
CN の視点	スマートな受取で CO2 削減。



夏の COOL CHOICE STOP! 再配達
全国一
スマートな受取で CO₂ 削減
CO₂ 削減 42万
CO₂ 削減 1.8倍

とよた SDGs ポイントと組み合わせ



豊田市独自のポイント制度「とよた SDGs ポイント」を、上記行動と組み合わせるとポイント発行 (ポイント原資は、自治会費や地元賛同企業から協賛) することで、エコにお得をプラスして活動を展開できます。貯めたポイントは市内のポイント加盟店で、1 ポイント 1 円として利用することができます。